



なでしこ

【校訓】 かしく なかく たくまく 【教育目標】 進んで学び子 たがいに助け合う子 かっぱいやりぬく子

令和6年10月31日
さいたま市立谷田小学校
TEL 882-2980
FAX 811-1334
<http://yada-e.saitama-city.ed.jp>
【在籍児童数】 570名

キツネからのメッセージ

校長 村田 寿一

秋の日はつるべ落とし(井戸のつるべが落ちるように太陽が早く沈み、暮れてしまう。秋の日暮れが早いことのたとえ。)と言いますが、最近はずっかり日没も早くなり、秋も深まってきました。あの猛暑が嘘だったかのように、朝晩はめっきり冷え込み、肌寒さも感じる今日この頃です。少し日が経ちましたが、先日の運動会では保護者の皆様、地域の方々におかれましては、たくさんの方々にご参観いただくとともに、ご協力をいただきありがとうございました。

11月29日(金)、30日(土)には校内音楽会を開催し、学年ごとに合唱や合奏を発表します。他学年の児童や保護者・地域の方々に一生懸命歌ったり、演奏したりする姿を披露できるよう音楽の時間を中心に練習に励んでいます。音楽会の練習を通して、自分の力を伸ばそうとチャレンジする意欲、頑張る自分自身に自信をもてる気持ちを伸ばしたいと考えます。さらに、学年のすべての子ども達と協力して、お互いを信じて歌ったり、演奏したりすることの楽しさを味わわせたいと期待しています。練習をしていく中では、上手いくことも時には思い通りにいかないこともあると思います。しかし、谷田小の音楽会は、どんな時も多様な他者と協働して、自分の力で進んでいける力を養う機会でもあります。各御家庭におかれましても、子ども達の様子を見守りいただき、『自立と共生』ができる力が育めるようご支援をお願いいたします。

話は変わりますが、先日学校からの帰途、さいたま市内で野生と思われるキツネと出会いました。これまでに、タヌキは何度も見かけたことがあったのですが、キツネを見たのは初めてのことでした。緑区の大崎公園の近くで谷田小学校周辺よりは自然が多く残っている場所とはいえ、さいたま市内にも住んでいたんだと驚きました。キツネというと昔から「人を化かす」とかあまり良くないこともいわれていますが、実は小学校の国語の学習ではおなじみの動物で、ある調査によると国語の教科書に登場する動物の第1位になっているそうです。『手ぶくろを買いに』『ごんぎつね』『きつねのおきゃくさま』等々、皆さんも自ら読み学んだり、子ども達が学んでいるのを見聞したりことがあるのではないのでしょうか。私も子どもの頃にこれらのお話を学び、教員となってからは子ども達に教えてきた思い出のお話ばかりなのですが、その中でも一番心に残っているのが、『きつねのおきゃくさま』です。その理由は、私が教員となって初めて行った研究授業がこのお話で、今も鮮明に覚えているのですが、その時の子ども達には申し訳ないくらい情けない授業をしてしまい、たくさん指導を受けたということがあったからです。もし過去に戻ることができたならもう一度しっかりとした授業を行って、このお話の良さを伝えたいと思っています。先日思わぬ形で出会ったキツネにより、昔のことがよみがえるとともに、初心を忘れず、反省を生かし学び続ける教員であれというメッセージを改めて伝えられたような気がしました。

